

# 世界史B 近現代 40 世界恐慌と経済ナショナリズム

①第一次世界大戦後、1920年代のアメリカ⇒「永遠の繁栄」と呼ばれる経済好況。

アメリカ国内の資本主義の矛盾

┌独占・合理化の進展による( )1の縮小

└鉄道や石炭産業部門は不振・後退、農産物の価格低下⇒自作農の( )2

⇒国民の( )3力低下

アメリカの株式市場

1924年中頃から( )4を中心とした資金の流入⇒「長期上昇トレンド」

好景気で余剰資金が市場に流入。ダウ平均株価は5年間で( )5倍に高騰。

1929年9月3日にはダウ平均株価381ドル17セントという( )6価格を記録。

②大恐慌⇒1929年10月24日ニューヨーク株式市場=( )7街で株価が大暴落

10月24日10時25分、ゼネラルモーターズの株価が( )8セント下落。

この日だけで1289万4650株が売りに出される。シカゴとバッファローの株式市場は閉鎖。

投機業者で自殺したものはこの日11人。

この日は木曜日⇒後に「( )9の木曜日 (Black Thursday)」と呼ばれる。

10月29日、24日以上の大暴落が発生。

┌株価はダウ平均で12%下がり⇒9月の約半分に。

└一日で時価総額140億ドルが消滅、週間では300億ドルが失われた。

└⇒米国年間予算=30億ドルの( )10倍に相当。米の第一次世界大戦の総戦費をも上回る。

┌投資家はパニックに⇒株の損失を埋めるため様々な分野から資金を引き上げ。

┌( )11経済への依存を深めていた各国経済も連鎖的に破綻。

⇒「過剰( )12恐慌」

⇒投資縮小を誘引⇒強烈な( )13後退に見舞われる。

③世界恐慌への拡大(1931年)

1931年 米大統領「( )14モラトリアム」⇒全ヨーロッパ戦債の支払い猶予。

⇒既に手遅れであり恐慌は拡大する一方。

恐慌のピーク⇒1932年後半から1933年春にかけて

┌アメリカで閉鎖された銀行は1万行⇒1933年2月には全銀行が業務を( )15

└アメリカの工業生産→1929年を境に半分に。GNPも3年前の半分以下。

└ドイツに波及=アメリカの支援資本投下→英仏に波及=( )16金に依存)

└イングランド銀行⇒1931年9月「( )17本位制」を停止。

⇒世界恐慌に。

工業生産---1929年に比し米独で( )18% 貿易---2分の1

失業者→アメリカ1600万人、イギリス300万人、ドイツ500万人⇒1933年まで続く

④経済恐慌への対応=アメリカのニューディール

フランクリン=ローズベルト(任1933~45)---元ニューヨーク州知事。民主党。

・失業者の救済事業---州政府が失業者に金銭と仕事を与え( )19救済を図る。

⇒1932年の選挙で大統領に。恐慌→黒人、マイノリティーにより深刻な打撃。全国平均の2倍の失業率。

【ローズベルトの政策】

・1933年( )20法を廃止 憲法修正第21条

・初めて( )21の大臣を起用。労働長官フランシス・パーキンス(任1933~45)

・ソ連を承認。( )22◆aの独立承認(1934年)⇒「( )23外交」

・( )24の10年後の独立を認める(1934年)。実際の独立は1946年。

⇒社会に民主的な風潮をもたらす。

◆a--スペイン植民地。1868年独立戦争。1895年ホセ=マルティ(1853~1895)らのキューバ革命党による第二次独立戦争。

98年には島の半分を解放。メーン号事件を契機に米軍介入=米西戦争。98年パリ条約で独立が決まったが、アメリカが保護国化。南東部( )に米軍基地(永久租借地)。1902年独立するが、アメリカは承認しなかった。

「( )25=巻き直し=政策」

経済学者ジョン・メイナード・( )26(1883~1946)◆bによる「修正資本主義」

◆b--英国の経済学者。マクロ経済学を確立。1918年ヴェルサイユ会議英国代表の一人。ドイツへの多額の賠償に反対して辞任。「平和の経済的帰結」(1919) 著「雇用・利子および貨幣の一般理論」(1936)

・政府による経済統制⇒「( )27需要」をつくり出す⇒「( )28投資」

・労働者の保護⇒( )29力増大を目指す。

┌テネシー川開発公社(TVA)---ダム水路建設。治水・電力・( )30促進。

└( )31調整法(AAA)---農民を支援。生産量を減らし価格を引き上げ。

└全国産業復興法(NIRA)---過当競争を避ける。産業ごとに生産制限。

(以上1933年) 価格、最低( )32、労働時間制限 を取り決め。

1時間=( )セント 週48時間、やがて40時間

「( )33資本」を抑制。労働者の団結権・団体( )34権の保障。

→NIRAに対し最高裁違憲判決(1935)

└( )35保障法(1935年)---高齢者への金銭給付。母子家庭保護。障害者への援助。

└( )36法(1935年)---全国労働関係法。NIRAに代わり労働者の団結権・団体交渉権を新たに立法化して保障。(名称は提案者民主党上院議員の名から)→37年最高裁合憲判決

└( )37法(1935年)---交戦国への武器軍事物資の輸出を禁止。

⑤スターリング=ブロック

1932年 イギリス連邦経済会議=( )38会議

┌連邦内の商品は無税または低関税

└連邦外の商品には高関税

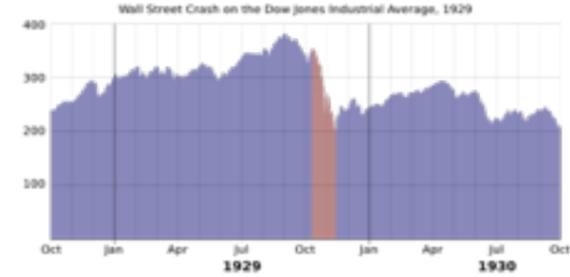
→スターリング(ポンド)=ブロックを形成

フランスとアメリカ ⇒ それぞれフラン=ブロック、ドル=ブロックを形成

⇒第2次世界大戦の素地を作る。



ウォール街



ケインズ



ローズヴェルト



ホセ=マルティ

- ・5 ・10 ・40 ・53 ・80 ・金 ・景気 ・投機 ・失業 ・閉鎖 ・暗黒 ・生産 ・消費 ・株式
- ・輸出 ・余剰 ・過剰 ・雇用(2) ・没落 ・購買(2) ・最高 ・禁酒 ・公共 ・直接 ・有効 ・交渉
- ・社会 ・停止 ・独占 ・賃金 ・農業 ・善隣 ・賠償 ・中立 ・オタワ ・キューバ ・ワグナー
- ・ケインズ ・フーヴァー ・フィリピン ・グァンタナモ